

1

解説

(1) $x \leq y \leq z \leq 1$ ①

$4x + 3y + 2z = 1$ ② とする。

② から $z = \frac{1 - 4x - 3y}{2}$ ③

③ を ① に代入して

$$x \leq y \leq \frac{1 - 4x - 3y}{2} \leq 1$$

整理して

$$y \geq x, \quad y \leq -\frac{4}{5}x + \frac{1}{5}, \quad y \geq -\frac{4}{3}x - \frac{1}{3}$$

この3つの不等式が表す領域は、図の斜線部分になる。ただし、境界線を含む。

よって、図より、

$$x \text{ の最大値は } \frac{1}{9} \quad \left(\text{このとき } y = \frac{1}{9}, z = \frac{1}{9} \right)$$

$$y \text{ の最小値は } -\frac{1}{7} \quad \left(\text{このとき } x = -\frac{1}{7}, z = 1 \right)$$

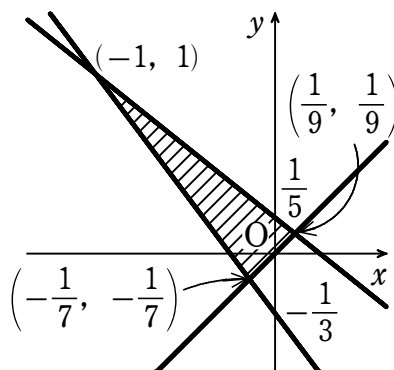
(2) $3x - y + z = k$ とおく。これに ③ を代入して

$$k = 3x - y + \frac{1 - 4x - 3y}{2} = \frac{2x - 5y + 1}{2}$$

よって $y = \frac{2}{5}x + \frac{1 - 2k}{5}$ ④

これは傾きが $\frac{2}{5}$ 、 y 切片が $\frac{1 - 2k}{5}$ の直線を表す。

この直線が(1)で図示した領域と共有点をもつような、 k の値の範囲が求めるものである。



右の図から、直線④が点 $(-1, 1)$ を通るとき、

$\frac{1-2k}{5}$ が最大となるから k は最小で

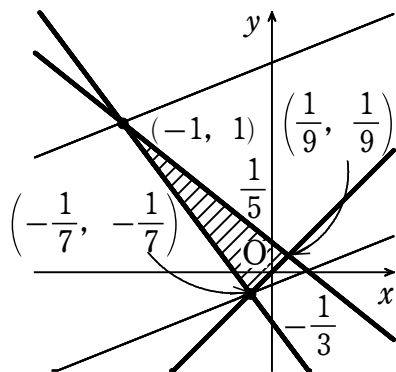
$$k = \frac{2 \cdot (-1) - 5 \cdot 1 + 1}{2} = -3$$

直線④が点 $(-\frac{1}{7}, -\frac{1}{7})$ を通るとき、 $\frac{1-2k}{5}$

が最小となるから k は最大で

$$k = \frac{2 \cdot (-\frac{1}{7}) - 5 \cdot (-\frac{1}{7}) + 1}{2} = \frac{5}{7}$$

したがって $-3 \leq 3x - y + z \leq \frac{5}{7}$



2

解説

(1) 平面 $z=t$ ($0 < t < 2$)と線分RP, RQとの交点をそれぞれA, Bとする。

$\triangle PQR$ は直角二等辺三角形である。

$BA = RB = 2 - t$ であるから

$$A(1-t, 1, t), B(-1, 1, t)$$

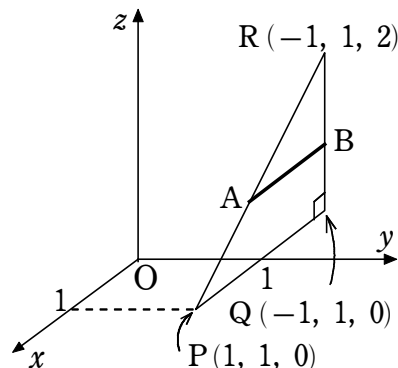
(2) 平面 $z=t$ による回転体の切り口の面積を $S(t)$ とする。切り口の図形は、線分ABを z 軸の周りに1回転したものである。

[1] $0 \leq t \leq 1$ のとき

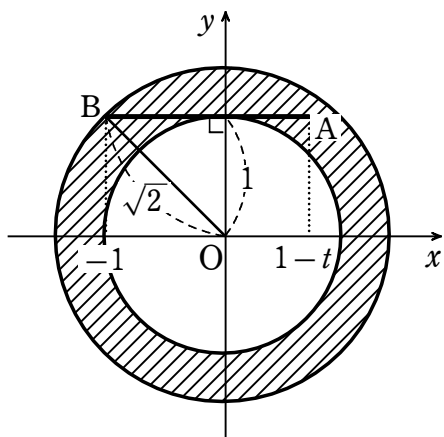
$$S(t) = \pi \cdot (\sqrt{2})^2 - \pi \cdot 1^2 = \pi$$

[2] $1 \leq t \leq 2$ のとき

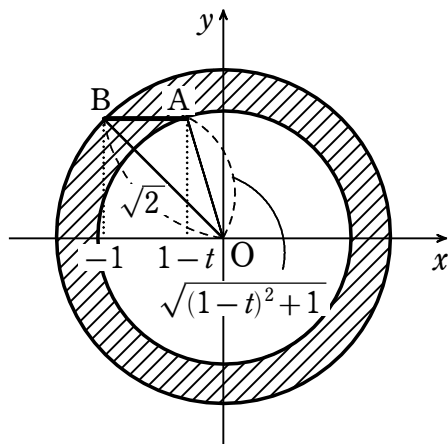
$$S(t) = \pi \cdot (\sqrt{2})^2 - \pi \cdot (\sqrt{(1-t)^2 + 1})^2 = (-t^2 + 2t)\pi$$



[1]



[2]



[1], [2] から, 求める体積は

$$\int_0^2 S(t) dt = \pi \int_0^1 dt + \pi \int_1^2 (-t^2 + 2t) dt = \pi \left[t \right]_0^1 + \pi \left[-\frac{t^3}{3} + t^2 \right]_1^2 = \frac{5}{3}\pi$$

3

解説

$\tan 1^\circ$ が有理数であると仮定すると, 2倍角の公式

$$\tan 2\alpha = \frac{2\tan \alpha}{1 - \tan^2 \alpha}$$

をくり返し用いることにより,

$$\tan 2^\circ, \tan 4^\circ, \tan 8^\circ, \tan 16^\circ, \tan 32^\circ, \tan 64^\circ$$

はすべて有理数となる。

よって, $\tan 60^\circ = \tan(64^\circ - 4^\circ) = \frac{\tan 64^\circ - \tan 4^\circ}{1 + \tan 64^\circ \tan 4^\circ}$ であるから, $\tan 60^\circ$ は有理数となる。

一方, $\tan 60^\circ = \sqrt{3}$ であり, $\sqrt{3}$ は無理数であるから矛盾が生じる。

したがって, $\tan 1^\circ$ は有理数ではない。

4

解説

$\triangle ABC$ の内心を I とすると $r = IC \sin \frac{C}{2}$ …… ①

また, $\triangle IBC$ において, 正弦定理により

$$\frac{IC}{\sin \angle IBC} = \frac{a}{\sin \angle BIC}$$

よって $IC \sin \angle BIC = a \sin \angle IBC$

これに $\angle BIC = \pi - \frac{B+C}{2} = \frac{\pi}{2} + \frac{A}{2}$, $\angle IBC = \frac{B}{2}$,

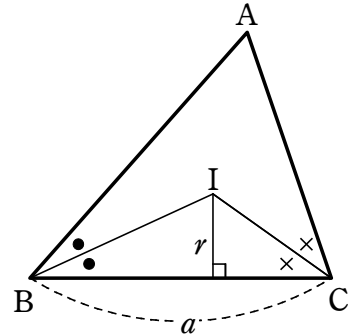
$a = 2\sin A = 4\sin \frac{A}{2} \cos \frac{A}{2}$ を代入すると

$$IC \cos \frac{A}{2} = 4\sin \frac{A}{2} \cos \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2}$$

$\cos \frac{A}{2} > 0$ であるから $IC = 4\sin \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2}$

よって, ① から

$$\begin{aligned} r &= 4\sin \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2} \sin \frac{C}{2} = 4\sin \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2} \sin \left(\frac{\pi}{2} - \frac{A+B}{2} \right) \\ &= 4\sin \frac{A}{2} \sin \frac{B}{2} \cos \frac{A+B}{2} \end{aligned}$$



$$= 2\sin \frac{A}{2} \left(\sin \frac{A+2B}{2} - \sin \frac{A}{2} \right)$$

$$\sin \frac{A+2B}{2} \leq 1 \text{ であるから } r \leq 2\sin \frac{A}{2} \left(1 - \sin \frac{A}{2} \right) = -2 \left(\sin \frac{A}{2} - \frac{1}{2} \right)^2 + \frac{1}{2}$$

$$0 < \sin \frac{A}{2} < 1 \text{ であるから } r \leq \frac{1}{2}$$

〔別解〕 正弦定理により $a = 2\sin A$, $b = 2\sin B$, $c = 2\sin C$

また, $\frac{1}{2}bc\sin A = \frac{1}{2}(a+b+c)r (= \triangle ABC)$ から

$$r = \frac{bc\sin A}{a+b+c} = \frac{4\sin A \sin B \sin C}{2(\sin A + \sin B + \sin C)} = \frac{2\sin A \sin B \sin C}{\sin A + \sin B + \sin C} \dots\dots ①$$

A, B, C は三角形の内角であるから

$$\sin A > 0, \sin B > 0, \sin C > 0$$

この3数の相加平均と相乗平均の関係から

$$\frac{\sin A + \sin B + \sin C}{3} \geq \sqrt[3]{\sin A \sin B \sin C}$$

$$\text{よって } \frac{(\sin A + \sin B + \sin C)^3}{27} \geq \sin A \sin B \sin C$$

したがって, ① より

$$\begin{aligned} r &\leq \frac{2}{\sin A + \sin B + \sin C} \times \frac{(\sin A + \sin B + \sin C)^3}{27} \\ &= \frac{2}{3} \left(\frac{\sin A + \sin B + \sin C}{3} \right)^2 \dots\dots ② \end{aligned}$$

$y = \sin x$ ($0 < x < \pi$) のグラフは上に凸であるから, 3点 $(A, \sin A)$, $(B, \sin B)$, $(C, \sin C)$ を頂点とする三角形(または線分または点)の重心を考えることにより

$$\frac{\sin A + \sin B + \sin C}{3} \leq \sin \frac{A+B+C}{3}$$

$A+B+C = \pi$ であるから

$$\frac{\sin A + \sin B + \sin C}{3} \leq \sin \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2} \dots\dots ③$$

$$\text{②と③から } r \leq \frac{2}{3} \cdot \left(\frac{\sqrt{3}}{2} \right)^2 = \frac{1}{2}$$